

平泉藤原氏の時代、当地域は、その一門である樋爪氏の支配下にあった。樋爪の苗字は居住地の地名に拠ったもので、「比爪」あるいは「肥爪」「火爪」とも書き、いずれも後世の「日詰」と同訓である。樋爪館を本拠とし、志波郡の西部を領して権威があったようである。

—「紫波町史(第1巻)」1972 紫波町発行—

## ◎ 第9回定期講演会・・・

12月2日に第9回定期講演会(赤石公民館共催、紫波町教育委員会等後援)を開催しました。盛岡大学文学部教授熊谷常正先生の「紫波の遺跡をめぐる人びとー比爪館と文化財保護ー」と題した講演は、「私たちの樋爪館」を考えるうえで大いに参考になり、質疑も予定時間を超えるほど熱心に行われました。とくに今回は町議会の議員さん方が多数参加され盛りあげてくださいました。充実した内容で盛会裡に終了できたと思っています。(裏面、新聞コピー参照)

## 《《《 1～2月行事予定のお知らせ 》》》

1月16日 (水曜日)	第37回月例懇話会	午後7時から午後9時まで 赤石公民館 発表者：平井和夫 テーマ：古代の道(二)
2月20日 (水曜日)	第37回月例懇話会	午後7時から午後9時まで 赤石公民館 発表者：桜井芳彦 テーマ：比爪館の発掘調査(四)

12月は定期講演会のため休みにした月例懇話会ですが、新年1月から通常どおり毎月第3水曜日に開催します。会員の発表を聞いて学ぶだけでなく質問や意見交換の時間もあります。会員以外の方どなたでも歓迎していますので参加してみてください。

衆議院総選挙も終わり東日本大震災二年目の多難な年が幕を閉じようとしています。新しい年に期待して年越しをしたいものです。皆様、良いお年をお迎えください。

## —?—?—?—?—?— 樋爪氏 / 樋爪館 —?—?—?—?—?—

## Part 8

### (7) 五郎沼の伝説 (つづき)

大正末期の泥さらいの際には、鎮魂の儀式が行われ、夜泣き石も現在の所に移設されたそうです。

また土手の南端に、享保(1716～36)の頃に建てられた蛇塚という所がありました。昭和になってから、そこに郷倉を建設することになりました。整地したところ経塚が現れ、経文を納めた素焼きと青銅の二重経筒、魔除けの短刀が出てきたそうです。沼底からの出土品や素焼きの経筒、経文などは赤石小学校に保管されていたこともあったようですが、残念ながら、いまは殆ど行方が分からなくなっています。

### (8) 樋爪一族の運命

奥州藤原氏は、四代泰衡の代になって間も

ない文治5(1189)年9月、源頼朝により滅ぼされました。では樋爪一族はどうなったのかというと、平泉炎上から間もなく、樋爪館に火を放ち一旦は逃れますが、結局は頼朝のもとに出頭し降伏します。一族の生き残りは、所に流されましたが、老齢の樋爪俊衡だけは所領を安堵されることになります。吾妻鏡にもその顛末が記されています。

大意は、「樋爪太郎俊衡と五郎季衡は、厨川の柵にいる源頼朝のもとに俊衡の息子三人師衡・兼衡・忠衡と季衡の息子経衡を伴って自首した。頼朝が対面したが、老齢の俊衡を見て哀れを催し家臣の八田知家に預けた。俊衡は法華経を誦誦(どくしょう)するほか一言も発しない。知家も仏教を崇敬していたので感銘を受けた。…… (次号につづく)

紫波町の歴史と  
文化財保護学ぶ  
赤石地区講演会

紫波町の赤石地区ひづめ館懇話会(高橋敬明会長)の定期講演会は2日、同町日詰駅前1丁目の赤石公民館で開かれ、盛岡大の熊谷常正文学部教授が「紫波の遺跡をめぐる人々―比爪館と文化財保護―」と題して講演した。熊谷教授は、煙山村

(現矢巾町)の村長などを務めた小笠原迷宮(本名謙吉)の志波城



紫波町内の歴史、史跡について認識を深めた講演会

跡の位置特定の研究などを紹介した。

文化財保護について「明治時代は学者、戦後は行政が担い、現在は住民が主体」と語り、まちづくりを生かすよう提案した。

熊谷教授は平泉関連の比爪館や、源頼朝が藤原泰衡公を討つため陣を構えた陣ヶ岡は「県や国の史跡、世界遺産登録を狙ってほしい」と呼び掛け、会員や町議ら参加者約30人は歴史に興味を尽きない様子だった。

📖 樋爪館関連資料集第2号が完成しました !!

平成23年1月に発行した会員発表資料集に続く第2号(A4判98頁)が完成しました。内容は平成22年度月例会で会員が発表した資料「覚王寺と大日堂」「陣ヶ岡の28万騎」「南日詰遺跡の発掘調査」「山道・海道と北上川」など23篇です。

紫波町図書館や紫波町内の地区公民館そして県立図書館等で閲覧できます。非売品ですが、賛助会員には頒布していますので詳細は下記にお問い合わせください。

電話 019-676-3999  
(赤石公民館内 ひづめ館懇話会事務局)

携帯電話 090-3125-3776 (高橋)

